

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催による
 人材需要の高まりに合わせ“おもてなし”人材を育成
2016年度より亜細亜大学 経営学部
スポーツ・ホスピタリティをコース化し、リニューアル！

公開講座に日本パラリンピック委員会会長 鳥原氏・JOC理事 藤原氏などが登壇

亜細亜大学(東京都武蔵野市/学長・池島政広)経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科は、2016年度より新たにスポーツ・ホスピタリティをコース化し、リニューアルいたします。

本学は2014年6月、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、組織委員会と全国の大学が連携し、それぞれの資源を活用してオリンピック教育の推進や大会機運の醸成等の取り組みを進めるため、「大学連携協定」を締結しております。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、想定される経済波及効果は2020年にかけて約11兆円、約69万人の雇用と約5.7兆円の粗付加価値が生み出されるという予測が立っています(※)。この人材需要が高まるタイミングに合わせ、本学では、2004年より専攻としてスタートさせたホスピタリティ教育をもとに、ホスピタリティ(おもてなし)マインド溢れる人材および、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での即戦力となる人材育成を視野に入れ、本コースを加え、ホスピタリティ・マネジメント学科をリニューアルいたします。※2014年4月 株式会社三菱総合研究所 政策・経済研究センターによる



この度、コース化に先立ち、本学学生以外の皆さまにも受講いただけるよう、日本パラリンピック委員会会長 鳥原氏や、JOC理事 藤原氏などが登壇する「ホスピタリティビジネス特講Ⅱ(スポーツ・ホスピタリティ)」を、公開講座として開設することを決定いたしました。文部科学省、国土交通省観光庁、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、日本障がい者スポーツ協会といった関係機関並びにオリンピックなどの講師を招聘し、オリンピック教育の推進のための公開講座を2015年9月より2016年1月まで全15回の講義を実施いたします。

さらに、コースリニューアルにあたり、亜細亜大学OBである、福岡ソフトバンクホークス松田 宣浩選手、高田 知季選手、読売巨人軍井端 弘和選手よりコメントをいただいております。

■松田 宣浩選手

今後の日本に必要なサポート側の人材はグイグイ引っ張っていくリーダーシップのある人。世界に視野を向け新しい知識をどんどん学んでもらいたいです。

■高田 知季選手

自己を犠牲にしても尽くせる人が、今後の日本のサポート側に必要だと思います！日常では学べないことをスポーツを通して学び、それを日々の生活に活かせるようなこと期待したいです。

■井端 弘和選手

今後の日本にはメンタルケア・コンディショニング・トレーニング等マルチに選手をサポートできる人材が必要です。そのような人材を数多く輩出するコースになることを望んでいます。

2016年度よりリニューアルとなる経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科では、AO入試、ホスピタリティ推薦入試、スポーツ・ホスピタリティ推薦入試等の各種試験を実施し、2015年9月より出願を受け付けます。

<本件に関する報道の皆さまからのお問い合わせ先> 亜細亜大学 PR事務局

担当: 西野、有田 TEL:03-5572-6064 MAIL: asia-u@vectorinc.co.jp

<一般の方からのお問合せ先> 亜細亜大学入試・広報センター 広報課

TEL:0422-36-3238 FAX:0422-36-1075 MAIL: koho@asia-u.ac.jp (受付時間9:00-17:00)

【参考情報】

□亜細亜大学 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 スポーツ・ホスピタリティコース概要

ホスピタリティ系とスポーツ系の科目を中心に、スポーツ・ホスピタリティの理論と実務について学習。スポーツを「する」と「みる」を「ささえる」というスポーツ・ホスピタリティについての理論と実務の両面から理解を深めていきます。

■進路: スポーツクラブやフィットネスクラブのクラブマネジャー、プロスポーツクラブのフロントスタッフ、自治体のスポーツ振興スタッフ、企業の健康管理スタッフ、スポーツジャーナリスト、スポーツディレクター、スポーツプロデューサー、スポーツプランナーなど

■入試: AO入試、スポーツ・ホスピタリティ推薦入試、一般入試など(併願可)

■HP: <http://www.asia-u.ac.jp/admissions>

□ホスピタリティビジネス特講Ⅱ(スポーツ・ホスピタリティ)概要

斯界の専門家を講師に迎え、その世界でのものの見方や実践活動などを含めて総合的に理解し、その内容や問題などについて受講生に考えてもらおうという科目です。

■期間: 2015年9月24日(木)～2016年1月21日(木)まで全15回

■時限: 5時限(16:10～17:40)

■会場: 亜細亜大学 5号館1階 511教室

■お申込み方法: 直接会場にお越しください。第14回は学生対象講義となり一般公開いたしません。

■受講料: 無料

■講座スケジュール:

	日程	講師
第1回	9月24日	ガイダンス: 茂木信太郎教授・横山文人准教授
第2回	10月1日	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会会長 島原光憲氏
第3回	10月8日	文部科学省 スポーツ・青少年局 スポーツ振興課課長 森岡裕策氏
第4回	10月15日	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会総務局長 雑賀真氏
第5回	10月22日	(公財)日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 事務局長 中森 邦男氏
第6回	10月29日	講義レビュー: 茂木信太郎教授・横山文人准教授
第7回	11月5日	公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)理事 藤原庸介氏
第8回	11月12日	オリンピック 伊藤華英氏
第9回	11月19日	株式会社産業経済新聞社 特別記者兼論説委員 佐野慎輔氏
第10回	11月26日	観光庁(外客受入担当) 参事官 藤原 威一郎氏
第11回	12月3日	株式会社三菱総合研究所“ビジョン2020”推進センター長 仲伏達也氏(レガシー共創協議会 事務局長)
第12回	12月10日	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 企画財務局 レガシー担当部長 佐々木良氏
第13回	12月17日	早稲田大学スポーツ科学学術院 間野義之教授(レガシー共創協議会 会長)
第14回	1月14日	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 森喜朗会長(元内閣総理大臣、公益財団法人日本体育協会 名誉会長)
第15回	1月21日	総括: 茂木信太郎教授・横山文人准教授